



“まちづくり”を考える情報誌



おっ!! まっちい~

vol.

155

Let's まちづくり from now on

2026 AUGUST

編集発行：群馬県県土整備部都市計画課



スノーピーク赤城キャンプフィールド



レジャー×スポーツ！

つながりを育むぐんまのアツい最新拠点施設特集！

- 赤城ウェルグラウンドの拠点施設：大沼キャンプフィールド
- 笑顔と活力を未来へつなぐ！安中市総合運動公園の大規模改修が始動
～市民のウェルネスからトップアスリート育成まで、地域を支える新拠点へ～

🔴トピックス 安中市合併20周年記念事業

DOMANNAKA2026の開催

～この日だけは、安中市が日本のど真ん中～

🔴トピックス 駅前が変わる、まちが変わる。市有地発の地ビール醸造所がオープン！

🔴投稿 板倉ニュータウン「グリーンプロック」で始まる、未来の暮らし





赤城ウェルグラウンドの拠点施設：

おの 大沼キャンプフィールド

■ 県立赤城公園の活性化に向けた取組～赤城ウェルグラウンドと自然環境・景観の保全～

県立赤城公園は、日本百名山として名高い黒檜山や地蔵岳をはじめとする赤城の山々、大沼・小沼・寛満淵の湖沼・湿地、希少な野生動植物など、豊かな自然が魅力の公園です。近年では、年間100万人を超えていた利用者数が50万人程度に減少し、新たな利用ニーズに応じていくことや、地元事業者の高齢化や後継者不足を背景として新たな担い手を確保すること、老朽化に伴う施設の維持管理費用の増大などの課題に直面していました。

こうした課題に対応するため、自然環境課では地元事業者や前橋市、民間企業等の関係者とともに検討を重ね、令和4年10月に「県立赤城公園の活性化に向けた基本構想」を策定しました。生きがいやウェルビーイングなど、これからの時代に求められる価値観を念頭に、自然環境の保全・保護に配慮して公園エリアを活用することとし、「自然」を核とした公園の魅力を引き出して、にぎわい・滞在・交流・体験等の機会を創出する「赤城ウェルグラウンド」を目指して取り組んでいます。また、持続可能な公園管理・運営体制の構築を見据えた新たな取組として、大沼キャンプフィールドと赤城ビジターセンターを拠点施設として整備し、官民共創によって管理・運営を行うこととしています。

こうした整備事業の実施に伴い、民間による乱開発の増加が懸念されることから、優れた自然の風景地の保護と調和を図るため、景観保全に向けた取組も実施しています。まず、将来に向けて自然豊かな赤城山の価値を守り繋ぎ、良好な景観形成を図ることを目指して前橋市と赤城山デザイン協議会を組織し、地元住民や環境団体と協力して「赤城山景観ガイドライン」を策定しました（令和7年5月公表）。また、自然景観の保護と公園利用の調和を図っていくため、（仮称）群馬県立自然公園条例の策定と本県初の県立自然公園となる「県立赤城自然公園」の指定に向け、検討を進めています。



モバイルハウス「住箱」 5サイト

建築家・隈研吾氏と開発したモバイルハウス「住箱-JYUBAKO」の宿泊プラン。トイレとシャワーも完備しています。



ドッグランサイト 8サイト

柵に囲われた大型の区画サイト。サイト内ではリードなしでワンちゃんとお過ごしいただけます。手洗場・電源付。



区画オートサイト 45サイト

駐車スペースが横付けされているオートサイトです。15m×15mを基準に区画されており、広々お過ごしいただけます。

キャンプフィールド利用料 Campfield fee

サイト	シーズン料金 ※税込価格		
	レギュラー	ハイ	トップ
フリーサイト(12m×12mほど) IN:13:00~ OUT:~11:00	5,500円	6,600円	7,700円
フリーサイト(6m×6mほど) IN:13:00~ OUT:~11:00	2,200円	3,300円	4,400円
区画オートサイト IN:13:00~ OUT:~11:00	7,700円	8,800円	9,900円
電源付き区画オートサイト IN:13:00~ OUT:~11:00	8,800円	10,450円	11,880円
ドッグランサイト IN:13:00~ OUT:~11:00	11,000円	13,200円	15,400円
モバイルハウス「住箱-JYUBAKO」 IN:13:00~ OUT:~10:00	24,200円	27,500円	30,800円
デイキャンプ利用 IN:11:00~ OUT:~17:00	2,750円~	3,300円~	3,850円~
アーリー/レイト料金 IN:11:00~ OUT:~17:00	オールシーズン 1,100円		



〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山1-22

TEL 027-289-0482

営業時間 9:00~18:00(冬季9:00~17:00)

水曜定休





■大沼キャンプフィールド（愛称「スノーピーク 赤城 キャンプフィールド」）

大沼キャンプフィールドは、林間学校や民間保養所として利用されていた県有地について、廃屋撤去や無電柱化、既存樹木の移設など、湖畔景観と自然環境に配慮して整備を進めました。指定管理者が施設の管理・運営を担うこととし、事業提案に優れていた「株式会社スノーピーク」を指定管理者に選定しました（指定管理期間：10年間）。また、同社はネーミングライツパートナーにも決定し、「スノーピーク 赤城 キャンプフィールド」の愛称で今年4月25日に開業しました。

利用者の皆様には、以下の3つを大きな魅力としてお楽しみいただいています。まず、本キャンプ場は標高1,350メートル付近にあり、前橋市の市街地に比べて気温が約10℃低く、夏場でも涼しく快適に過ごすことができます。東京圏から約2時間でアクセスすることができ、春の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色など、四季を通じて、本格的な山の自然を身近に体感できることも大きな魅力です。2点目は、キャンプサイトが充実している点です。キャンプサイトは全部で109か所あり、ほとんどが車で乗り入れ可能な「オートサイト」です。愛犬と一緒に過ごせる「ドッグランサイト」や、トレーラーハウスで過ごすモバイルハウス「住箱（じゅうばこ）」もあります。3点目は、手ぶらでキャンプが楽しめる点です。道具一式をレンタルでき、専属スタッフのサポートにより、初心者の方にも安心してご利用いただけます。

■赤城ビジターセンター（愛称「スノーピーク ランドステーション 赤城」）

もう一つの拠点施設であるスノーピーク ランドステーション 赤城は、今年9月にオープンする予定であり、赤城山頂エリア周遊等の観光案内のほか、カフェの営業、産直品やアウトドア用品販売などを行います。また、会議やワーキングのスペース、コインロッカー、コインシャワー等の設備を備え、ワーケーションでの活用や、登山やランニング、散策などのアクティビティを快適にお楽しみいただけます。



手ぶらキャンププラン 税込27,500円～
キャンプ道具一式をすべてレンタルで
ご用意。1泊2日のキャンプを気軽に体
験いただけます。1組5名まで利用可。



電源付き区画オートサイト 28サイト
電源が用意されている区画オートサイ
トです。初心者やお子様連れの方のほ
か、冬期利用にもおすすめです。



フリーサイト（B・C・D） 15サイト
お好きな場所をお選びいただき、1サイ
トにつき6名様、12m×12m程度範囲を
基本としてご利用いただけます。



フリーサイト（O） 8サイト
お好みの場所で6m×6m程度範囲・小
型テント1張りをご利用いただけるサイ
トです。登山目的の方におすすめです。





笑顔と活力を未来へつなぐ！安中市総合運動公園の大規模改修が始動 ～市民のウェルネスからトップアスリート育成まで、地域を支える新拠点へ～

安中市 みりよく創出部 スポーツ課

安中市のスポーツとコミュニティの核として親しまれてきた「西毛総合運動公園」が、令和8年4月に「安中市総合運動公園」へと名称を一新しました。現在、令和8年9月の一般供用開始に向けて、国の社会資本整備総合交付金やスポーツくじ助成金を効果的に活用した陸上競技場の大規模な改修事業が着々と進められています。本事業は、単なる老朽化対策にとどまらず、都市公園の機能高度化を通じて市民の健康増進、競技力向上、そして地域活性化を一気通貫で目指す総合的なまちづくりプロジェクトです。今回は、群馬県の新たな活力を生み出す本改修事業の「3つの大きな意義」に迫ります。



安中市総合運動公園 全景

■ 第4種L公認の全天候型へ！競技環境と備品の劇的進化

改修前の陸上競技場の最大の課題は、クレイ（土）舗装だったトラックの老朽化でした。今回の改修では、衝撃吸収性の高いウレタン舗装を施した「第4種L公認陸上競技場」として適正に整備・更新します。アスリートや学生が天候に左右されず、安全かつ快適に全力を尽くせる最新の環境を確保。インフィールドも土から鮮やかな人工芝へと生まれ変わり、2029年開催の「湯けむり国スポ・全スポぐんま」のアーチェリー会場など、多種多様な公認大会や記録会の開催が可能となります。さらに、スポーツくじ（toto・BIG）助成金を活用し、ハードルをはじめとした4種L公認規格を満たす最新の検定規格品（備品）を網羅的に整備。今後はこれらを適切に管理・収納するための専用倉庫の建設も予定しており、ハード・ソフトの両面から地域の選手たちのモチベーションを高め、県全体の競技力向上を牽引します。



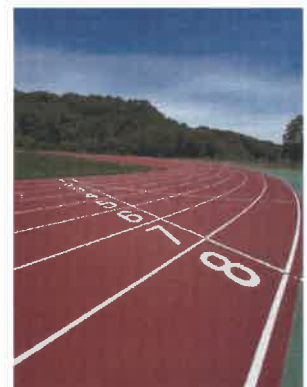
工事前（上）、工事後（下）

■ 「ウェルネススポーツ」で多世代が集う健康空間

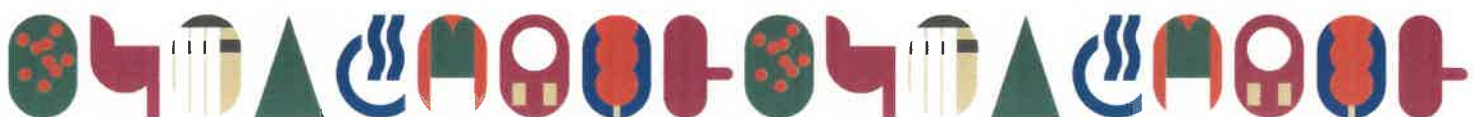
本公園が目指すもう一つの姿は、子どもから高齢者まで誰もが主役になれる「ウェルネススポーツ」の拠点です。本格的な競技層だけでなく、市民が日常的にウォーキングやジョギングに親しめるよう外周園路等も順次整備し、生涯スポーツを力強く推進します。緑豊かな都市公園の特性を活かし、多世代の市民が運動を通じて自然に集い、心地よく交流できる空間を創出することで、心身ともに健やかに暮らせる持続可能な地域社会の構築をサポートします。

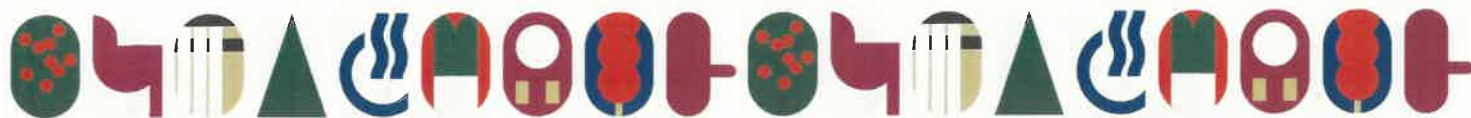
■ 公園から広がるにぎわいと地域活性化のサイクル

魅力的なハード整備は、市民のスポーツ実施率を向上させるだけでなく、関係人口の拡大という大きな副次効果をもたらします。新しくなった安中市総合運動公園を「安中市のスポーツ振興のシンボル」として機能させ、周辺地域から多くの大会参加者や観客を呼び込みます。公園発の賑わいを周辺の観光資源や商業へ波及させ、交流人口の拡大と地域経済の活性化へとつなげていく、これからの公園まちづくりの好事例として期待が集まっています。



ゴール前





安中市合併20周年記念事業

DOMANNAKA2026の開催～この日だけは、安中市が日本のど真ん中～

安中市 地域づくり課、政策・デジタル推進課

2026年3月28日、安中市合併20周年記念事業の1つとして、野外音楽フェス「DOMANNAKA2026（ドマンナカ2026）」が開催された。市内外から約2,400名が「碓氷峠の森公園（峠の湯）」に集まり、大盛況で1日を終えた。

企画がスタートしたのは、2024年冬。合併20周年を迎えるにあたって、安中市長から安中市出身在住のアーティスト茂木洋晃さん（G-FREAK FACTORY）へ「市内で音楽フェスをやらないか」との相談があったそう。対する茂木さんの一言目は、「自治体から補助金は受け取らない」。これは「現実として人口が減っていく中で、補助金頼りのイベントは続かないだろう」と思慮しての言葉だった。なお、安中市の人口は、現在約53,000人だが、24年後の2050年には34,680人に減少すると推計されており、地域経済やコミュニティの縮小などが懸念される。この危機的状況に立ち向かうべく、市の補助金には頼らずに茂木さん自らが代表となって地元の有志を募り、「DOMANNAKA2026」実行委員会を立ち上げた。

「DOMANNAKA2026」は、安中市を市外に大きく発信するとともに、市民が改めて地元を誇りを持てるようにと企画された。

その方法としては、大きく2つ。

1つ目は、コンテンツ。DOMANNAKA2026は、メインステージ、サブステージ、出店エリア、日帰り温泉エリア（峠の湯施設内）で構成。メインステージには、G-FREAK FACTORY含む、全国で活躍するアーティストが出演。一方のサブステージは、安中市出身在住のアーティストのみ出演。出店エリアは、市内経済の循環に貢献できるよう、安中市にお店を構える店舗を中心に選定した。



サブステージ



トロコ内

加えて、JR横川駅から会場まで、廃線敷を活かした遊歩道「アプトの道」が通っているという、この土地ならではの強みを生かした。多くの来場者に楽しみながら歩いてもらえるよう、道中でのステッカー配布や、国指定重要文化財である「旧丸山変電所」周辺でのステージ設置、トロコ列車内での演奏など、多様な工夫を凝らした。

2つ目は、会場付近である坂本地区の皆さんとの連携。実行委員会には坂本地区の若者も参加し、地域説明会を2回開催した。また、担い手不足により日の目を浴びなくなった、地区所有の「山車」をメインゲートに設置。当日は、坂本地区の皆さんにこそ楽しんでほしいとの想いから、招待券を配布した。

その結果、出店や公式グッズ、チケットの売り上げは大盛況、黒字となった。また、各SNSで前向きな声や230万を超えるポストインプレッションをいただき、坂本地区の皆さんからも「お祭りを復活させた」「来年もやってほしい」との声が上がるなど、大成功であった。

「地域づくり」は「人づくり」。「DOMANNAKA2027」の開催は未定だが、出来ることなら継続的に開催し、安中市に住む皆さんにこそ「安中市結構いいじゃん」と言ってほしい。そして、坂本地区で起こった波のように、安中市を締めず、立ち上がる人を少しでも増やしたい。いつか安中市に住む全員が、「ここが日本のど真ん中だ！」と誇れるように。



メインゲート（山車）





駅前が変わる、まちが変わる。市有地発の地ビール醸造所がオープン！

一般社団法人 館林アーバンデザイン

■ 一般社団法人館林アーバンデザインの紹介

一般社団法人館林アーバンデザインは、深刻化する少子高齢化、人口減少、そして公共施設の老朽化や低未利用地の管理など、行政が直面しているこれらの課題に対し、官と民がともに館林のまちづくりについて考え、実行するための行政の補完組織として令和6年2月26日に設立されました。

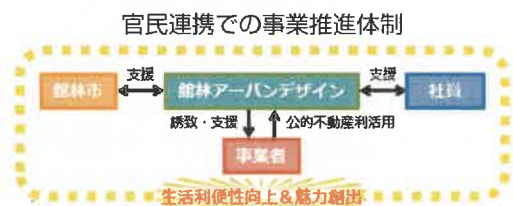
また、当法人の社員である館林市、館林商工会議所、邑楽館林農業協同組合、金融機関、市内の民間企業が緊密に連携する体制を整えており、柔軟かつスピード感のある事業推進に取り組んでいます。

■ 官民連携事業の仕組み

当法人は、誰もが便利で快適に暮らせるまちを創るため、低未利用な公的不動産への都市機能誘導を皮切りに、新たなまちづくりに取り組んでいます。

官民連携での事業推進体制としましては、館林市が保有する低未利用な公的不動産の活用をはじめとした行政が抱える課題について、解決に向けた調査・検討、市への提案を行い、当法人が主体となって実施事業をマネジメントしています。

具体的な事業としましては、「駅前広場直結のクラフトビール醸造所兼飲食店」、「障がい者支援施設とカフェが併設される公園」、「市営住宅跡地へのドラッグストア」の3か所の誘致が決定し、令和8年度から順次オープンを予定しております。



■ 「遠藤醸造所 ENDO BREWERY」について

「遠藤醸造所 ENDO BREWERY」は令和8年5月25日に開業した、公的不動産の利活用事業の第1号店舗で、館林駅西口駅前広場に面していることから、新たなまちのシンボルとして非常に多くの方で賑わっています。地ビール以外にもハンバーガーを始めとした自慢の肉料理を提供しており、カフェ利用やスポーツ観戦、貸切宴会でも利用できます。今後は、性別や世代を超えたコミュニティスポットとして、まちなかのにぎわいを創出してくれること間違い無しです。今年の夏は是非、館林駅西口にお越しいただき、美味しい地ビールと肉料理を堪能してください。

【営業時間】午前11時30分から午後10時（不定休）

【席数】店内35席、テラス席15席



店舗外観



店舗内観



自慢のハンバーガーとクラフトビール



■ これからの館林駅西側エリアについて

当法人が目指している館林駅西側エリアのビジョンは市有地や公園予定地などの公的不動産へ都市機能を誘導し、その効果を「点から線」、「線から面」に広げ、館林市立地適正化計画に基づく、コンパクトシティを推進するものです。

今後は、「遠藤醸造所 ENDO BREWERY」に続いて、市が整備する公園の中に障がい者支援施設とカフェが併設される（仮称）1号公園の整備が予定されています。

整備に際しては、地域住民の方々と意見交換を重ね、「どんな施設があったら良いか」、「どのように使いたい」などの意見を反映させた計画づくりを進めています。

また、エリアビジョン実現には公的不動産を活用するハード整備事業だけではなく、歩いて楽しめる仕掛けやエリア内の回遊性を高める取り組みも必要不可欠なため、今後は、公共空間の活用をはじめとしたソフト事業にも官民連携で取り組んでいきます。

■ おわりに

当法人は行政の補完組織として、行政が管理に苦慮する低未利用な公的不動産をまちの価値を高める「ポテンシャル（可能性）」として捉え、公的不動産の利活用を起点とした、エリア全体の価値向上に取り組んでいきます。官民連携でチャレンジし続ける館林に今後もご注目ください。





板倉ニュータウン「グリーンプロック」で始まる、未来の暮らし

群馬県 企業局 団地課

1. グリーンプロックのあらまし

■ グリーンプロックとは

板倉ニュータウンの「グリーンプロック」は、地域で生み出したエネルギーを地域で使う“エネルギーの地産地消”を実現する新しい住宅街区です。

また、グリーンプロック内に、公共広場を設置するとともに、電線類は全て地中に設置することにより、日常生活や景観に配慮したものとしています。

■ マイクログリッド（エネルギーの地産地消）

グリーンプロック内の全戸に設置が義務付けられている太陽光パネルによる発電の余剰電力や板倉ニュータウン太陽光発電所で発電した電力を一括して蓄電システムに貯蔵します。また、余剰電力で水電解を行って水素を生成・貯蔵し、非常時や夜間には、蓄電システムに貯蔵した電力と、水素エネルギーを活用することで安定して電力を供給します。（水素エネルギー活用は、2033年までの実証事業。）

■ 災害時も安心な持続可能なまちづくり

グリーンプロック内では、マイクログリッドにより停電時でも電力供給が可能となっています。最大約7日間の電力供給が可能で、災害時でも生活基盤を維持できる“レジリエンスの高いまち”として、安心して暮らすことができます。

また、マイクログリッドにより、化石燃料や二酸化炭素を削減した環境にやさしい、持続可能なまちづくりを推進しています。

2. EV（電気自動車）利用の促進

■ EVステーション（急速充電器）とEVカーシェアリング

グリーンプロック等で発電した電力を活用するEVステーションとEVカーシェアリング事業をグリーンプロック内で実施しています。

■ 気軽に利用できます

EVカーシェアリングは、板倉ニュータウンの居住者だけでなく、隣住民や周辺企業の方々にも利用いただけます。板倉東洋大前駅から徒歩約3分に立地しており、来訪者の移動手段としても利便性が高くなっています。15分単位で利用でき、スマートフォンアプリで予約・利用が可能となっており、気軽に環境にやさしい移動手段として利用できます。

■ 新たな移動手段の提供

カーシェアリングサービスの提供により、「タクシーやバスに依存しない移動」「短距離移動の効率化」といった新しい選択肢が生まれます。企業利用や日常のちょっとした外出にも適したサービスです。

■ 所有から利用へ

これからの暮らしは「一人一台の車所有」から「一家に一台＋必要なときだけ利用」へと変化していきます。カーシェアは維持費の軽減にもつながり、より合理的なカーライフを実現します。

■ 移住者への対応

車を持たない移住希望者にとっても、カーシェアがあることで生活の不安が軽減されます。鉄道とカーシェアを組み合わせることで、都市と同様の利便性を確保できます。

3. 板倉ニュータウングリーンプロック分譲中

板倉ニュータウン「グリーンプロック」は、令和7年9月から分譲を開始しています。

駅徒歩圏内という利便性に加え、豊かな自然環境、充実した生活インフラ、そして最先端のエネルギーシステムを兼ね備えた次世代の住宅地です。

見学は予約不要で随時可能ですので、ぜひ現地で「未来の暮らし」を体感してください。



板倉ニュータウン ステーション



ステーション所在地

板倉ニュータウン 料金表	
ショート料金 15分ごと	220円(税込)
パック料金 1時間まで	550円(税込)
パック料金 2時間まで	1,100円(税込)
パック料金 6時間まで	3,300円(税込)
パック料金 12時間まで	5,500円(税込)
パック料金 24時間まで	8,800円(税込)
パック料金 24時間以上12日間まで	4,400円(税込)
月額料金 1kmまで	18円(税込)

お支払いは使った分だけ！

時間料金 + 距離料金 = 利用料金





まちづくり イベント情報

第55回 下仁田こんにやく夏祭り

下仁田の夏を彩る最大級のお祭りです。こんにやくの一大産地ならではの体験や味覚、そして夜空を彩る花火まで、家族みんなで楽しめます。

■8月14日(金)
15:00~20:20
開場13:00
■こんにやく体験道場
(広場)

【お問い合わせ先】
下仁田こんにやく夏祭り
実行委員会事務局(下仁
田町商工観光課商工観光
係)
TEL 0274-64-8805



大島の火まつり

夏のお盆に行われる百八燈の行事で、毎年、その年にちなんだ文字を地元の人たちがまつり当日に決め、間夜にその文字が浮かび上がります。

■8月16日(日) 19:30から点火
■城山(大島地区)

【お問い合わせ先】
(一社)富岡市観光協会
TEL 0274-62-6001



富岡花火大会

大島の火まつりと同時開催され、夏の夜空に約1,000発の花火が打ち上げられます。富岡合同庁舎駐車場から観覧することもできます。

■8月16日(日) 19:45~20:15(予定)
■群馬県富岡合同庁舎駐車場

【お問い合わせ先】
(一社)富岡市観光協会
TEL 0274-62-6001



2026おうら祭り

邑楽町最大のイベント。子どもから大人まで楽しめるイベント盛りだくさん。フィナーレの打上花火は約8,000発。夏の夜空を盛大に彩ります。

■8月23日(日) 13:00~21:00

※終了時間が変更となりました

■おうら中央多目的広場
【お問い合わせ先】
邑楽町役場商工振興課
(おうら祭り実行委員会事務局)
TEL 0276-47-5026



たんばら星空観察会

標高1300mの玉原高原で、漆黒の夜空に浮かぶ満天の星空を観察しませんか？雨天、曇天時は室内で星座や宇宙の説明をします。

参加費・大人1,000円、小・中500円(未就学児無料)
■①9月5日(土) ②9月12日(土) ③10月3日(土)

④10月10日(土)
19:30~20:30
(受付19:00~)

■たんばら東急リゾート駐車場

【お問い合わせ先】

沼田市観光協会

TEL 0278-25-8555

事前申し込みが必要です。

沼田市観光協会HPからア

セス入力フォームで申込



しんとう・よしおか しんきちマルシェ

榛東村・吉岡町内の事業者を中心に、美味しいものや楽しいことをたくさん提供します。吹奏楽ステージも！

■9月12日(土) 11:00~17:00
■ジョイホンパーク吉岡

【お問い合わせ先】
榛東村産業振興課

TEL 0279-54-2211

吉岡町産業観光課産業振興係

TEL 0279-54-3111



2026東吾妻ふるさと花火

第4回を迎える「東吾妻ふるさと花火」。観客との距離が近く夜空を彩る大輪の花は迫力！ぜひご来場ください。

■9月19日(土) ※荒天の場合は20日に順延
15:00開場 19:00花火打ち上げ

■東吾妻スポーツ広場
【お問い合わせ先】

東吾妻ふるさと花火実行委員会

TEL 0279-68-2111

(東吾妻町役所 まちづくり推進課)



富岡甘楽物産展

富岡・甘楽地域のおいしいものや名産品が大集結。豪華賞品が当たる抽選会も実施予定です。

■9月26日(土)~27日(日) 10:00~16:00

■富岡製糸場 西園薬所

【お問い合わせ先】

富岡甘楽物産振興会事務局(観光交流課内)

TEL 0274-62-5439

「ハロウィンパーティー」フリーマーケット&WSワークショップ出店者募集

イベント「ハロウィンパーティー」開催日に公園内で同時開催する。子どもも大人も仮装で盛り上がる屋外イベントに例年50区画ほどのフリーマーケットブースが並び、詳細な規約などはQRコードから確認を。

■10月25日(日) 10:00~15:00

※出店申込期間

8月17日(月)

~9月14日(月)

(選考結果は9月下旬)

■観音山ファミリーパーク

【お問い合わせ先】

TEL 027-328-8389



「本と珈琲とちょこっとオヤツな1日」

「ブックシェアリング企画」本の寄贈を受付中

本・絵本・雑誌等、寄贈していただいた本を来陶者の方に無料でお譲りするイベントです。寄贈は1冊からでも大歓迎。イベント前日まで本の寄贈を受け付ける。イベント当日は珈琲・パン・焼菓子など約30の人気店が集結する。

■11月8日(日)

10:00~15:00

本の寄贈は8月1日~

公園サービスセンター

■観音山ファミリーパーク

【お問い合わせ先】

TEL 027-328-8389



総合建設コンサルタント

株式会社 アイディー・エー

I.D.A

群馬県高崎市倉賀野町4221-13

TEL 027-384-6600

FAX 027-384-6601

HPはこちら▶▶▶

各種計画の調査・分析から策定まで、ぜひお任せください!!

調査分析
・アンケート、ワークショップ
・ビッグデータの活用
・GISを用いた分析・整理

計画策定
・総合計画・都市計画マスタープラン
・立地適正化計画・地域公共交通計画
・人口ビジョン・総合戦略等

官民連携事業についても

お気軽にお問い合わせください。



県立公園アイディー・エー群馬の森

指定管理区(R6~)

マーチの独り言



皆様に愛されてきた本誌『おっ!! まっちゃん』も、創刊から27年目の夏を迎えました。令和8年度は、川上、黒須、山本、櫻井、猪狩、富澤、田邊、白井の8名で担当させていただきます。

昨年度の紙面デザインのリニューアルより早1年。新デザインも馴染んできましたでしょうか？

新しいデザインに負けないよう随時内容も革新していきます！

『おっ!! まっちゃん』では、掲載する記事やイベント情報を随時募集していますので、希望がありましたら、お気軽にご連絡ください。

それでは、今年度もよろしくお願い致します☆

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html>

